

湯浅建材有限会社

～地域で愛される「あなたのお役に立つまちの便利屋さん」～

県立がんセンター近くにある湯浅建材有限会社を訪問し、湯浅和彦代表取締役에게 会社概要、社業邁進に対する日ごろの思いを伺いました。昭和39年、実父である先代社長が、現在の地に居を構えられた頃は、周囲は山林（通称：無線山）で、民家も点々としかなかったそうです。今では県立がんセンターができ、乗馬クラブ、ゴルフ練習場もそばにあります。桜まつりの会場や緑のトラスト保全地域（第13号地）が広がり、伊奈でも注目を集めるスポットになってきたとのこと。創業した頃は、主に建設資材の販売をしていたそうです。その後、生コンクリートの製造販売、土木、外構工事や建物の解体工事、伐採等、多岐にわたり業容を広げられ、伊奈町で顧客満足を果たす信頼される企業に成長されています。変化の激しい時代にあって、個々の要求に応える工事に注力し、多くの企業や個人の顧客から注文を頂くようになっています。



湯浅代表取締役

会社の入口には、親しみを覚えるカラフルなイラスト看板が掲示されています。イラストは代表取締役ご自身の作で、見た人の心が和むよう思いを込めて描いたそうです。自身は美術より野球が好きで、上尾高校野球部で活躍、キャプテンとして、昭和49年夏の甲子園野球大会に初出場を果たされています。その後大学、社会人野球とプレーを続けた後、伊奈町職員として勤務されておられます。その当時から、常に“まちの役に立ちたい”という思いを抱かれておられました。十数年勤務された後、2代目として会社に入られました。

会社は、設備に生コンクリートプラント、土砂集積場、資材置場を有し、車両に重機、ミキサー車、大中小トラック約20台を保有、まちの便利屋として、お客様からの様々な相談に機動性を持って対応されています。



(左) 生コンクリートプラント (右) 社屋

最後に代表取締役は、これまで、いろいろな人と出会い、助けられ、励まし合ってやってきました。これからも自分ができることを精一杯やっていきたいと話されておられました。



看板のイラスト

(取材：上尾アブセック)

湯浅建材有限会社

住所：埼玉県北足立郡伊奈町小室 765-1 TEL：048-721-1078